



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- ①3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ②3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

<p>整備提案名（25字以内）</p>	<p>食を通して福祉の街をつなぐ</p>
<p>提案グループ名（25字以内）</p>	<p>食育をすすめるなかまの会</p>
<p>グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績</p>	<p>○子ども食堂（第6地区 南浅間町）ムーミンの会運営事業所の空き時間を利用 28年度 9/30・10/25・12/2・1/31・2/24 29年度 4/28・5/19 中学生未満無料、以上100円。乳幼児親子、近隣高齢者が利用。調理や配膳はムーミンの会給食調理員や近隣、学生のボランティアが行った。40名ほどからスタートし、回を重ねるごとに増え、100名を超える利用者となった。 ○子ども食堂（第3地区 サンモール西横浜商店街内）4/21・5/26 乳幼児親子、高齢者が利用。ムーミンの会職員、学生、ボーイスカウトのボランティアが運営。場所提供と調理はサンモール西横浜商店街で喫茶・食事のお店を営むマドカが協力。中学生未満無料・以上200円 100名を超える利用者。 ○子育て支援（カフェマドカ）親子ランチ 5/22 4組親子（大人5名 乳児4名 幼児4名）親子ランチセット1000円 幼児食300円 大人のみ700円 食事提供とともに、離乳食のレシピ紹介や保育士による育児相談を行った。調理はマドカ。店主の奥さんが保育士でもあり、説得力のあるアドバイスになった。</p>
<p>整備場所の所在地（町名又は丁目まで記入）</p>	<p>西区 久保町 ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。</p>
<p>整備提案の内容（どのような整備を提案するのか文章で記入してください）</p>	<p>サンモール西横浜商店街内にあるひろしやビル（3階建て建物）内テナントの飲食店ファミリーカフェマドカ（1、2階部分）の2階部分を全面改修。 2階では乳幼児親子が過ごしやすいように、床の一部に畳を設置。2階にもトイレとミニキッチンを設置。2階スペースと階段は仕切りがないため、階段と支援スペースを壁や扉で仕切る。衛生管理と消音を考慮した床板に張り替える。照明が喫茶店仕様で暗いため、明るい雰囲気になる照明に変える。 <u>整備費用の概算額：約500万円</u> ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p>
<p>整備提案の動機や背景（整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください）</p>	<p>○子育て親子の「孤立」を防ぎ、「食」を守る ・久保町等を含む第3地区で活動していた子育て支援団体が担い手の高齢化により解散し、乳幼児親子が集う場が減少。そのため親子はみなとみらい地域など、他の地域へ居場所を求めて足を延ばしている。これは、親子増のニーズと反比例している。生まれ育つ地域に親子の居場所、子育て相談の場が必要である。 ・親子だけで過ごす不安、子育てと家事の両立の困難さなどから逃れるため、日中は保育園の子育て支援、食事時はコンビニ弁当や大型スーパーのフードコート、子どもが眠るまで外で過ごすという実態である。「食」を含めた子育て支援ができる場を地元で確保すべきである。 ○高齢者の「孤立」を防ぎ、「食」を守る ・第3地区は、新しくマンションが建つ一方で、高齢者が多い古い住宅が立ち並ぶ地域でもある。「子ども食堂」開催時には、生活困窮により「食」を求めて利用する高齢者がいた。また、「自分だけの食事の支度は面倒だから」という人も少なくなかった。「食の充実」と「社会とのつながり」の場になる。</p>

	<p>○子どもの「孤立」を防ぎ、「食」を守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ムーミンの会の保育園では夕食利用者が3園190名中40名弱20%にのぼる。この子ども達全員が就学後、食事提供が有る学童クラブを利用するとは限らず、一人もしくは兄弟だけで夕食を摂り、学校長期休みには長時間留守番をすることになることが予想される。実際、長期休みになると商店街や公園に集まり過ごす児童が増えている。これは子どもの孤食のみならず、食事のリズムが乱れや、欠食、不健康を招く恐れが高いので支援が必要である。</li> </ul>
<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>○子育てサロンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも相談できる安心感をもって子育てができる。「離乳食ランチ」や「子ども食堂」では、手作り、安心して安全な食事を提供。特に離乳食ランチは、作り方や食べさせ方のアドバイスが聞け、親子でゆっくり向き合う時間になる。</li> <li>・地域の子育て支援情報とあわせて商店街のお得情報なども発信することで、子育て世代(SNS世代)の商店(街)利用が増えることが見込まれる。</li> </ul> <p>○子ども食堂の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤食の児童、高齢者、親子へ無料または低料金で食事を提供。様々な世代と一緒に食事をすることで孤立と孤食を防ぎ、やがては子どもの貧困対策へとつながる。</li> <li>・学校の長期休みに、留守宅児童と一緒に宿題をしたりお昼食を食べたりする場を提供。地域の子育て支援情報とあわせて商店街のお得情報なども発信することで、子育て世代(SNS世代)の商店(街)利用が増えることが見込まれる。</li> </ul> <p>○世代間交流の場による地域ニーズと人的資源の掘り起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や子育てを終えた主婦層の特技や知恵を互いに発揮し合う中で、地域のニーズを掘り起こす。そのためには「食」を通してつながっていくことが有効。元気な自分を相互に発揮し合える地域づくりを目指す。</li> </ul>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>当該事業の場所となるマドカが中心となり、特定非営利活動法人ムーミンの会の協力で維持管理を行なう。サンモール西横浜商店街や建物所有者の協力を得る、また、現場支援者には、久保町及び近隣の町内会、ムーミンの会職員、ムーミンの会とつながりのある保育専門学校の学生、ボーイスカウトなどのボランティアが当たる。調理はマドカが中心となって行う。交流が進むなかで、参加高齢者には伝承遊びや昔の遊び、地域ニーズの情報提供、食事献立のアイデア、調理の手伝いなど、参加者であり運営側として協力を要請する。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>○「保育の実績と専門性」と「飲食の実績と技術」が合わさって、人が生きるうえで最も大切にすべき「食」を通して地域をつなぐ。</p> <p>○地域の商店から安価又は無償で食材を入手。マドカ以外の店舗から食事支援協力。バザーによる資金集め。企業からの寄付(現在3社)、募金箱常設。</p> <p>○本事業利用者が増えることで、商店街活性につながる。</p> <p>福祉の街と言われている第3地区であるが、地域に位置する事業所だけがその役割を担うのではなく、第3地区自治会長、商店街会員、町内会会長が提案者となり、地域そのものが子どもや高齢者、子育て親子に<u>※にこやかに目をかけ、手をかけ、心かける「福祉の街」となり、また福祉に関わる人増やしへと</u>なる。 ※西区の子育て支援標語</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- |         |                         |                       |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。     | ・地域に設計の専門家がいる。        |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。     | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。     |

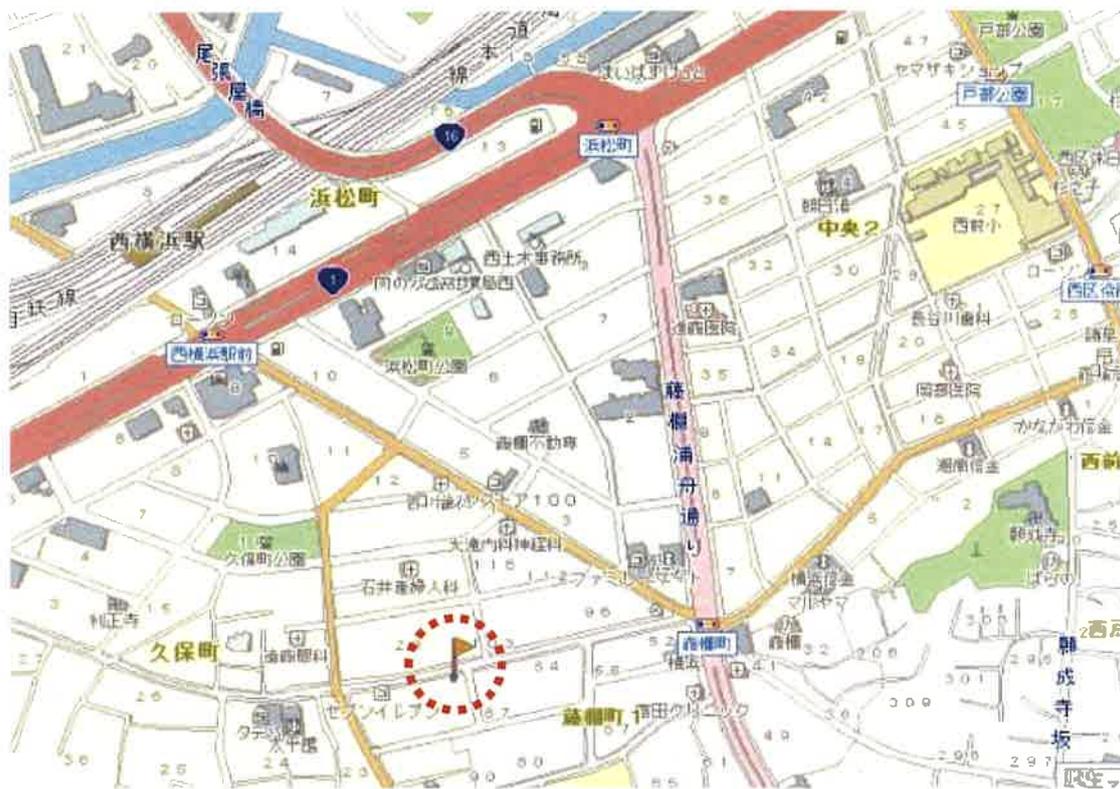
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
事業所展開予定のビル(ひろしやビル)	子ども食堂開催と実際の利用状況について説明。躯体工事は難しいが、協力する意向を頂いている

注5)土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報含まれていません。

【位置図】西区久保町 21-25



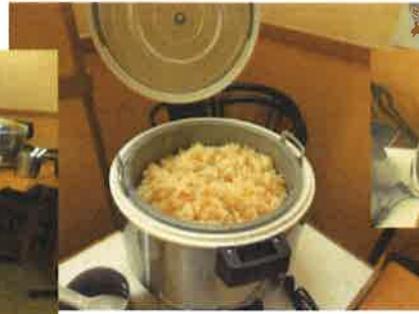
現況写真 ファミリーカフェ マドカ 2階部分



奥の扉（倉庫）が外から2階に直通の階段ある  
2階フロアーから扉なしで階段につながっている



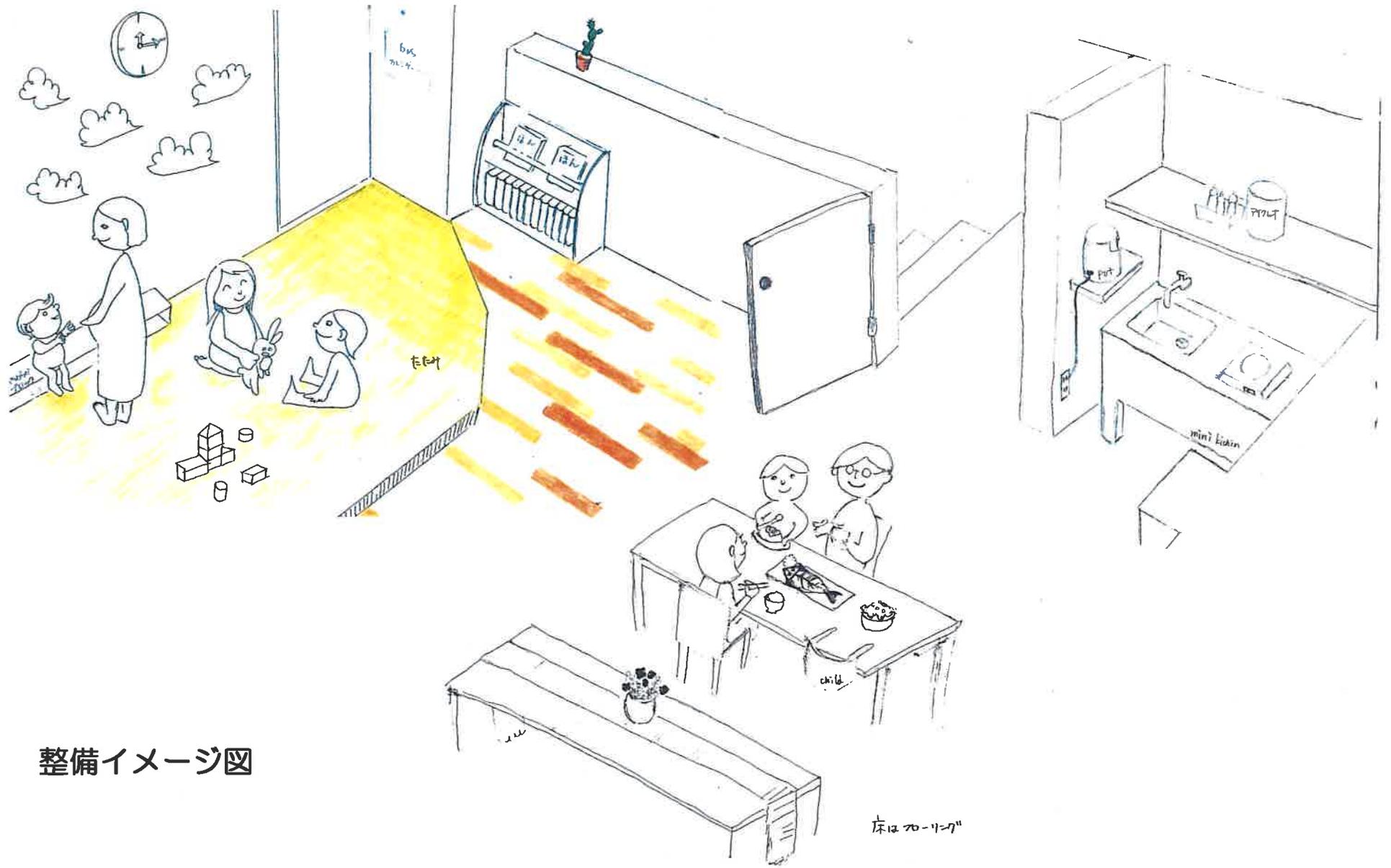
奥側に畳スペースを設置  
じゅうたんの床を、消音対策と掃除しやすい  
クッションフロアーに変える  
照明器具の変更  
コーナーガード



子ども食堂の様子 5/26  
 この日は102名の参加で大盛況  
 食事をした後は2階のあそびスペース  
 で、親子で遊んでいます。



親子カフェランチ（子育て支援）の様子 5/22  
 大人のメニューと同じ材料で離乳食や幼児食が  
 できています。  
 参加のママたちはレシピを真剣に聞いていました。



整備イメージ図

床は70-110cm